



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 吉田 碧

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 吉田 碧

【指導医】

聖路加国際病院 消化器外科 嶋田 元

当院にて急性胆嚢炎に対する治療をされた方を対象とした

手術適応に関わる因子についての研究

1.研究の対象

当院にて急性胆嚢炎と診断された方で 2018 年 1 月から 2022 年 12 月までに治療を受けられた方

2.研究の目的・方法

急性胆嚢炎は急性期には外科的切除が必要であり、急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン 2018 でも、早期に手術を行うことが推奨されています。標準術式である腹腔鏡下胆嚢摘出術は心身への負担が低く、我が国でも多く施行されていますが 70 歳以上の方の場合、併存疾患や ADL(日常生活動作)の低下など手術に伴うリスクも高く、手術適応を判断するための明確な基準も設定されていないため、保存治療が選択されることもあります。今回当院にて急性胆嚢炎の診断を受けた患者さんのうち、保存治療をされた群と手術治療をされた群を比較検討し、70 歳以上の患者さんにおいても早期に手術を行うべきか調査することで治療方針決定に寄与することを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載されている内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024 年 3 月 31 日までの予定です。該当データの利用開始は、2023 年 7 月 24 日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、ID、性別、年齢、BMI、身長、体重、診断名、合併症、既往歴、手術歴、発症日、嗜好歴、PS、血液検査結果、身体所見、画像検査結果、治療内容、手術日、術式、退院日 等